

経営比較分析表（令和5年度決算）

石川県穴水町 公立穴水総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透1未訓ガ	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
7,347	13,090	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

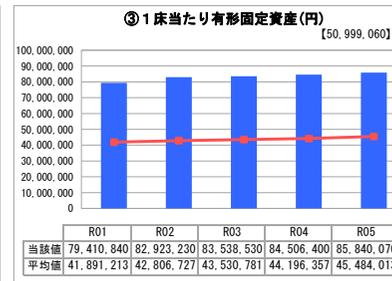
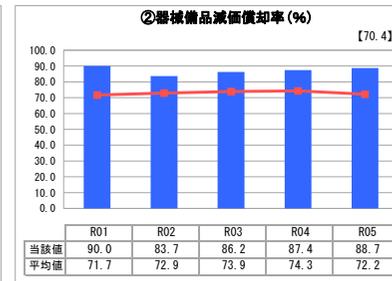
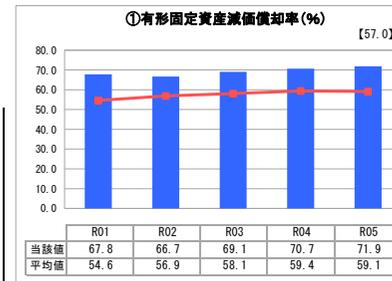
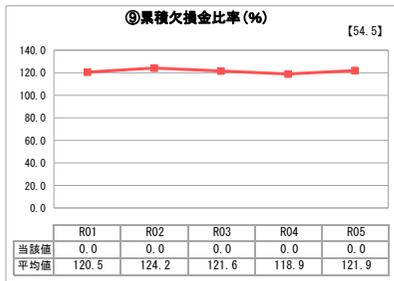
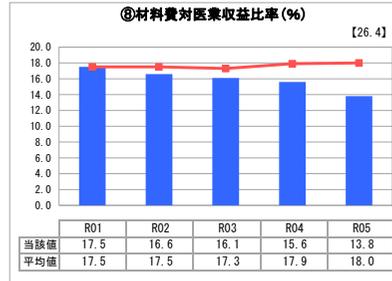
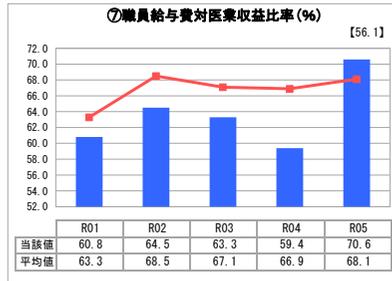
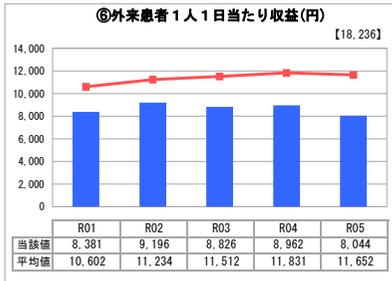
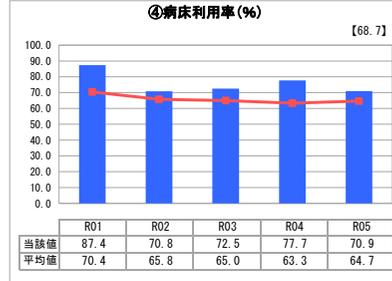
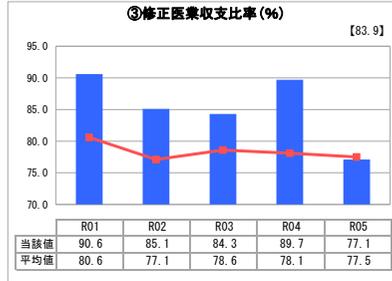
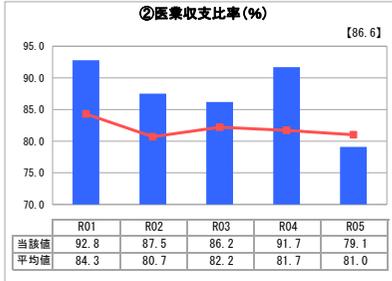
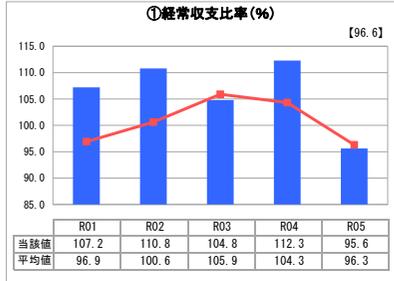
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
98	-	98

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の形態・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- 「患者さんの命を全力で守ります。」を理念に、町民だけでなく能登の方々の多様な医療ニーズに応えるよう努めるとともに、公立穴水総合病院新改革プランに基づき、地域で果たすべき役割を以下のとおり明確化し、更なる経営の効率化に向けた具体的な取組を推進します。
- ①急性期機能及び権務診療科の維持
 - ②急性期から回復期病棟への転換の検討
 - ③在宅医療提供体制の充実・強化
 - ④診療支援体制の確保
 - ⑤医療従事者の確保・育成
 - ⑥認知症高齢者対策

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度においては令和6年能登半島地震の影響により令和6年1月～3月の医業収益が大幅に減収となったため①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率ともに低水準となった。今後は看護師等の医療従事者の充足を回り医療サービスを充実させることにより震災前の患者数を確保し経営を安定させていく。施設の効率性については早期に稼働病床を震災前の100床に戻し経営の効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率ともに、類似団体平均値を大幅に上回っており、全体的に施設の老朽化が課題となっております。③1床当たり有形固定資産についても類似団体平均値を大きく上回っており、将来的な収益悪化の要因として懸念されます。老朽化した施設や機器の更新等により投資が必要となっており、効率的かつ計画的な更新により投資の圧縮を図る必要があります。

全体総括

経営状況は、類似団体と比較しても各指標が高水準を示しており安定した経営を維持できていたものの令和5年度においては震災の影響により低水準となった。今後は震災の影響だけでなく人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、地域で求められる医療ニーズを把握し、適切な医療体制を整え地域の基幹病院として維持継続を図ることが重要となります。また、施設や設備においては老朽化が進んでいる上、震災により多数箇所が破損し、限られた予算で効率的に更新を行っていく必要があります。こうした中で、令和5年3月に策定した「公立穴水総合病院経営強化プラン」に基づき、更なる経営の効率化を図るとともに、これまでの改革プランで重視してきた地域医療の安定かつ継続的な提供に加え、地域医療構想の役割を踏まえて経営の維持と地域に適した医療サービスの提供を図っていきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。